「令和４年度（第３回）西胆振区域地域医療構想調整会議」　協議事項・報告事項に係る意見等一覧表

１　協議事項

「西胆振地域における病床機能再編事業計画書について」

No.	委員からの意見・照会等	回答	
1	【伊達赤十字病院】 急性期病床の増床は、使用病棟の変更に伴う病床数の影響との理解で良いでしょうか。 （異論があるわけではありませんが、急性期病床は過剰の中での増床なので確認です。）	そのとおりです。使用病棟の変更に伴う影響です。 ３階・３６床（許可病床）急性期一般病棟を、7階・４４床（許可病床）に移転するためです。 ３階と７階の許可病床数の差が８床のためこのような表示となりました。	伊達赤十字病院
2	病床の効率的な活用と地域の実情を踏まえた医療機能の役割分担、介護との 連携強化を推進していただきたい。		
3	病床機能の分類が高度急性期、急性期、回復期、慢性期、休棟、介護移行と分かれていますが、地域医療情報では療養の病棟は急性期より過剰となっています。 （https://jmap.jp/cities/detail/medical_area/109） 実態の社会復帰などへ回復が行われていない回復期に分類されている療養病床は別途集計するべきではないでしょうか。	地域医構想の推進にあたりましては、将来的に過不足が見込まれる病床機能の把握等が重要となりますので、例年、道が行う「地域医療構想の推進に関する意向調査」と併せて把握するなど、今後の各種調査の実施の際の参考とさせていただきます。	事務局
4			

２　報告事項

「今後の地域医療構想調整会議の開催予定について」

No.	委員からの意見・照会等		回答	
1				
2				
3				
4				